

西柘植小だより

みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.17

2025 (令和7) 年 10 月 29 日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

校外学習

子どもたちは、9月末から社会見学や柘植小・壬生野小との3校交流会など各学年でさまざまな学びを行っています。

9月19日には、5・6年生が西柘植住民自治協議会や下柘植ボランティア、JAの皆さんにお世話になり、鎌による稲刈りを体験しました。今年は熱中症対策として午前中に行いました。初めて体験するという子が多かったのですが、ご指導により手早く刈り取っていくことができました。刈り取っていくにしたがってトンボなどの虫がたくさん集まってくることに気づいたり、コンバインで刈るとあっという間に刈り取ってしまうことに驚いたりしながら、普段できない貴重な体験を楽しむことができました。



9月22日には、3年生が市民センターとチンチロリン村に見学に行きました。市民センターでは、センター長さんやまちづくり協議会長さんから、伊賀市のこと、西柘植地域のこと、市民センターの役割、まちづくり協議会の活動について話を聞きました。地域の人たちが安心して過ごせるように、子どもたちが安全に健やかに成長できるようにという思いで日々活動してくれていることを知りました。チンチロリン村では、村長の橋本さんとまちづくり協議会の川村さんから「地域みんなが楽しめる場所を作りたい」という橋本さんの思いとそれに賛同した多くの人たちによってチンチロリン村が作られたことを知りました。お話を聞く中で、思いを伝えること、思いに応える仲間の存在の大切さを感じていました。

同日、5年生は、DMGMORIに工場見学に行きました。子どもたちは、地域にある工場の中でどんな機械をどのようにして作っているのかを知りました。計画的に効率よく作業がすすめられていることや、作られた機械が日本国内だけでなく海外にも輸出されていること、働いている人は常に技術を磨きながら仕事をすすめていること等を学びました。

9月26日には、4年生が津市に社会見学に行きました。まず、岡三デジタルドームシアター神楽洞夢のプラネタリウムを鑑賞し、月や星の動き、星座について学びました。これまで理科で学んできたことの復習、確認もすることができました。次に三重県総合博物館(MieMu)で三重県の自然や産業、文化について学びました。入り口で出迎える「ミエゾウ」の骨格標本の大きさに驚きながら太古の三重県の様子を思い浮かべていました。また、学芸員さんによる講座「ユニバーサルデザイン」を受講し、館内を歩きながら誰もが安心して楽しく過ごすための工夫について学びました。普段の生活の中にさまざまなユニバーサルデザインがあることを知り、身のまわりを見つめ直すことができました。

